

2025 年 10 月 17 日
No. 2025-023

次世代省エネ型バルクキャリア “DUCHESS MAGNOLIA” 引渡

ジャパン マリンユナイテッド株式会社(本社：神奈川県横浜市、社長：廣瀬 崇)は、10 月 17 日(金)、呉事業所(広島県呉市)にて建造していた次世代省エネ型バルクキャリア “DUCHESS MAGNOLIA” (ダッチェス マグノリア) を引渡しました。

本船は、弊社にて長い歴史を誇るパナマックスバルクキャリアの次世代船として開発された G-Series 80, 800 DWT 型 (G81BC) の更なる発展形となる J-Series 82, 400 DWT 型 (J82BC) の第 19 番船です。

最大の特徴は、当社従来船と同じ船体要目を維持しつつ、最新規則 (Common Structural Rules for Bulk Carriers and Oil Tankers や NOx(窒素酸化物) 排出規制 Tier III など) を折り込んだうえで、弊社独自の省エネ技術を活かして載貨重量の増加と燃費低減を両立している点です。

【主要目】

主要寸法	：	全長 226.17m x 幅 32.26 m x 深さ 20.20 m
総トン数	：	44,618
載貨重量	：	82,312 トン
航海速力	：	14.5 ノット
主機関	：	MAN B&W 6S60ME-C8.5-EGRBP x 1 基
定員	：	25 名
船級	：	NK
船籍	：	パナマ

【特長】

・最大の特徴は、当社従来船と同じ船体要目を維持しつつ、最新規則 (Common Structural Rules for Bulk Carriers and Oil Tankers や NOx(窒素酸化物) 排出規制 Tier III など) を折り込んだうえで、弊社独自の省エネ技術を活かして載貨重量の増加と燃費低減を両立している点です。

・弊社独自の省エネデバイスである Super Stream Duct®, SURF-BULB®, ALV-Fin® の最適化により、大幅な燃費削減を達成しています。

・新騒音規則にも配慮した低風圧居住区の採用により、実海域性能を向上しています。

・温室効果ガス (GHG) 排出規制である EEDI (エネルギー効率設計指標)*1 に対して Phase 2 レベルに達しており、環境ニーズにも配慮しています。

弊社は今後も、経済性・環境性に優れた最新鋭の船舶の開発・建造に努めてまいります。

